

訂正

本誌第127巻第1号掲載の「小児期発症慢性疾患を有する患者の成人移行支援を推進するための提言」(P61~78)において、一部、誤りがありました。以下に正誤表を掲載いたします。

該当ページ	誤	正
P66 図2 成人移行支援の概念図の説明	トランジション（移行）は「小児期発症の慢性疾患を持つ患者が小児を対象としたヘルスケアから成人を対象とするヘルスケアへ切れ目なく移る計画的、継続的、包括的な患者中心のプロセス」を意味し、 <u>白い横矢印</u> で示した①患者自身の自律・自立、②診療スタイルの移行、③診療体制の移行が柱となる。（以下、省略）	トランジション（移行）は「小児期発症の慢性疾患を持つ患者が小児を対象としたヘルスケアから成人を対象とするヘルスケアへ切れ目なく移る計画的、継続的、包括的な患者中心のプロセス」を意味し、 <u>3本の横矢印</u> で示した①自律・自立、②診療スタイルの移行、③診療体制の移行が柱となる。（以下、省略）
P75 表4 タイトル	<u>移行期医療に関する主要6要素</u>	<u>移行（トランジション）の主要6要素とタイムライン</u>
P75 別添資料2：移行プログラムの概要	1. 移行プログラムの概要 本提言において移行プログラムとは、（中略）多面的な行動計画”とある ¹⁸⁾ 。主として小児診療科での <u>成人移行支援のタイムライン</u> を表4に示す。	1. 移行プログラムの概要 本提言において移行プログラムとは、（中略）多面的な行動計画”とある ¹⁸⁾ 。主として小児診療科での <u>移行（トランジション）のタイムライン</u> を表4に示す。